

豊庄だより



第 736 号 2022 年 12 月 12 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

前号で、静岡県裾野市の認可保育園におけるあってはならない事件についてふれ、「数年前、福岡市でも保育士による不適切保育が問題となりました。その時、豊庄保育園でも自分たちの日ごろの保育を振り返ることをしました。」と書きました。次の日、これを読まれた保護者の方から、「どんな振り返りをされたのでしょうか？」という問い合わせが入りました。お答えします。

豊庄保育園の取り組みについて紹介する前に、福岡市の認可保育園が全園加盟している福岡市保育協会で、緊急に開いた研修会のことから書きます。福岡市の認可保育園で起こった不適切保育が報道され、福岡市保育協会では、二度とこんなことを起こしてはならない、どうすればいいのかを協議しました。そして、福岡市とも話し合い、研修会を企画しました。研修会の冒頭、(当時の)福岡市こども未来局部長から、該当園で問題となった不適切保育について厳しい指摘があり、再発防止の徹底をするようにと強い指導を受けました。

その後、全国保育士会が作成した「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～『子どもを尊重する保育』ために～」(以下、「セルフチェックリスト」という冊子を使った講演を聞きました。保育園の一日の流れ(登園時、日中、昼食時、午睡時、降園時、その他)に沿って、「よくない」と考えられるに対し、セルフチェックをつけることで、日々の保育を振り返ってほしいという内容でした。

早速、この「チェックリスト」を職員会で使ってみました。人権擁護の視点から「よくないと考えられるかかわり」を大きく 5 つのカテゴリーに分けられ、チェック項目は全部で 29。私が、一つずつ読み上げ、読み終わった後、みなさんに一つずつチェックしてもらいました。

こんな感じです。私が、「①子どもを注意する時、「だめよ！」と言って子どもの手を叩く。」と読みます。これに対し、日ごろの保育を思い出し、「していない」、「している」、「したことがある」にチェックをする。以下、チェック項目をいくつか紹介します。②並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待てず、腕をつかんで引っ張る。③食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべて配膳せず、食べた次のおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。④苦手なことを渋っている子に、「早くやって。できないなら後ろに行って。」と言ったり、他者と比較したりなど、否定的な言葉かけをする。

チェックを終え、結果を集計し、(1)子ども一人ひとりの人格を尊重しているか、(2)物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけをしていないか、(3)罰を与える・乱暴なかかわりをしていないか、(4)一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しながらかかわっているか、(5)差別的なかかわりをしていないかについて振り返りました。

この取り組みをして 3 年近く経ちました。その後、短縮したものを一度した記憶がありますが、今回の事件に接し、自分の保育を見直すためにも定期的に行うべきだと思いました。

※「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～『子どもを尊重する保育』ために～」は、インターネットで、全文を見ることができます。このチェック項目は、「子育て」にも通じるものです。トライしてみませんか？また、この問題について、みなさんの感想・意見をお寄せください。

